

幕の内弁当

四月月の病院生活で、体重は七十八ポンドから五十六ポンドまで減った。髪も伸び放題で、心機一転、このまま髪を伸ばすことにした。退院後、髪もげ

書 歴 履 の 私

司 憲 庵 久 栄
じ けん おん く え

つそりし、髪をばやしているから、私に気づかない人が多かった。

自宅療養中に散歩をしていて、石神井公園の近くで釣りに行くわした。小さい時の釣りの感覚を思い出し始めた。面白く、釣りが趣味になった。その釣りに偶然、出会

ったのが芸大図案科の三年後輩の版画家、緒方一成だった。彼からへら餅釣りを教えてもらった。一日中釣りをして何も釣れなくてもいい。打算のない世界が癒やしとなる。

以来、病膏言に入るで、海外に仕事に行く時も仕込み竿を持って出かけた。モスクワ、ウィーン、ロンドン、パリ、ヘルシンキでの国際会議の時

披露することにした。

奇麗に小さく 日本流

伝統の美学「誇り取り戻せ」

など釣り糸を垂らした。

昭和五十五年(一九八〇年)には、渋谷のGKショップのギャラリーを使い、GK展を一年間行った。毎月テーマを変えて、デザイン演げの毎日を通じた。

GKショップは、GKという組織が外部に直に見える場所として機能した。採算ペー

その精神は、後の「道具村」構想に継承されていく。

GK展を行った年に「幕の内弁当の美学」を出版した。この本では日本の伝統と現代、インターストリアル・デザインを結びつけ、日本の発想の原点を探った。戦争で失わ

たの店で売るべきだというのが趣旨だ。

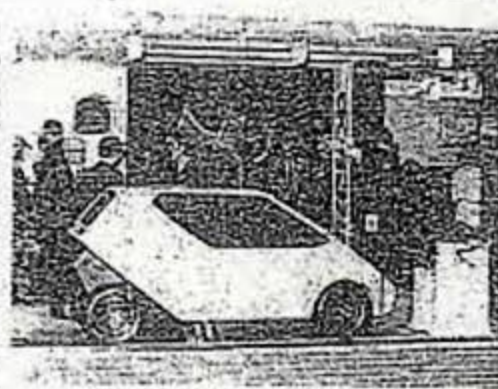
GKが発足した当初、マンデーギャラリーと言って、毎月曜日に、作品に対してみんなが集まって批評をした。今度はGKショップがギャラリーの役割を担うようになったので、毎月、どこかの部門が自分の作品をGKショップで

披露することにした。

れた日本人の誇りを取り戻すことに本目的があった。

欧米の連中は、日本の自動車でも電気製品でも、品質はいいが、全部のまねだと盛んに批判した。私は、それは、限られた場所にいるいろいろなかすを奇麗に並べる幕の内弁

当の美学が、形を変えて製品になっているのであり、日本人のオリジナリティーなのだ、と主張したかった。



GKショップのギャラリーで筆者がデザインした小型車を展示 (1980年)

社フィリップスのデザイン担当重役、クヌット・イラン氏だった。四十八年に来日した時、幕の内弁当を出した。「美しすぎて、どこから手をつけていいかわからない。これを讀すのは忍びない」と感動している。「この時、日本の伝統文化には世界

性があると気づいた。この本は、米国のMIT(マサチューセッツ工科大学)で英訳され、四年前に出版された。インターネットにも乗って、世界の各地からいまだに講演依頼が来たりする。(インターストリアル・デザイン)

幕の内弁当に限らず、日本にはコンパクトに凝集する伝統文化がたくさんある。限られた箱の中にたくさんものなり情報を入れるのは、欲の

デザイン)